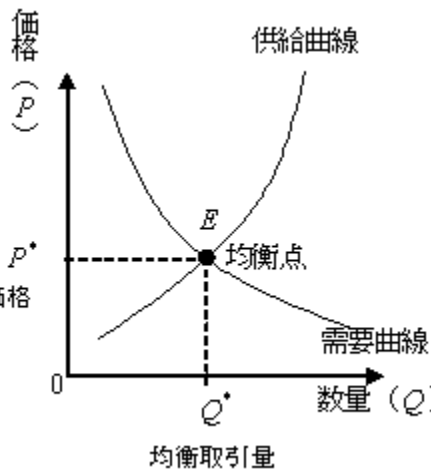


第27回監査女子会ディナー・ミーティング@東京

執事ミニ・レクチャー資料 2020年1月22日(水) 19時~21時
「お嬢様、大変でございます! : SDGs経済学(©戸村)で占う2020執事の耳打ち」



経済学の需要曲線と供給曲線をベースにSDGs経済学的にみると、「社会的悩み需要」(©戸村)のSDGs Demandと、「課題解決力供給」(©戸村)のSDGs Supplyの不適切な不均衡・歪みが、社会的課題・貧困・社会人権問題として生じてくると考えてみることはできないか?



「社会的悩み需要」Dが高く、「課題解決力供給」Sが低いところで、SDGsという作られた世論・誘導されていく社会動向(ただし国連で世界各国とともに採択した人権宣言等に沿って妥当性が高いもの)の追い風を受けるところに、新規事業や新たな取り組みをすることが、最も高いSDGs取り組み価値を得られるものと考えられそう。

Retrieved from GFDL, <https://ja.wikipedia.org/w/index.php?curid=170350>

- 某有名ホテルの繁忙期に従業員への10連休プレゼント
- 某有名スシ店の従業員への休暇プレゼント

TBS「ひろおび」番組制作支援・テレビ出演コメントしてきたもの+αの例
・企業側はおそらくは純粋に従業員を大切にしたいとの思いがメイン
→SDGs経済学的に理にかなっていない

- ①繁忙期に宿泊施設が数千万円の売上をスルーするのは非常識?
 - ・だからこそ、どこもやらないから社会的インパクトが高い
 - ・閑散期に休暇をとれるのはどこでも同じで目立たない
 - ・数千万円の目先の売上より従業員を大切にできるメッセージ性が大
 - ・メディアに取り上げられ宣伝+人材難の時代に欲しいホワイト感
- ②繁忙期には泊まれるホテルは懐具合と空き状況次第で決まるから...
 - ・逆に閑散期に選び放題の中で、ウチのホテルのファンづくりで閑散期の売上向上につなげ得る展開でもある
- ③人材難・離職リスクを考えると...
 - ・求人広告を出すお金や人材紹介会社に成功報酬を出し続けて人手不足・離職の穴を埋め続けるお金を、休暇というSDGs取り組み価値に置き換えたとみれば、十分ペイするお話し
 - ・飲食・宿泊で短期間に離職・雇用だと、単価を上げたいと思っても人材スキル不足・優れたホスピタリティを醸成しきれないまま価格競争に陥って結局は減収減益の道へ行きかねない

★青臭い理想論ではない

・社会的に良い取り組みをする企業・組織・個人を名誉+実利で応援する仕組みがSDGsでもある

8 働きがいも経済成長も



★SDGsの目標でいえば目標8、ILO(国際労働機関)でいうディーセント・ワークの観点からも理にかなっていて、社会への働きかけ・問題提起となりつつもフィナンシャル/ソーシャル/エモーショナル・リターンで実利面も得る形



★SDGs経営で追い風を受けるビジネス・マネジメント・事業展開などで執事の勝手な「2020年覚えておきたいキーワード」: 「サステナブル不便」(©戸村) 詳しくはQR→
・要するに、長期的視点からみて健全な取り組みをして儲け続ける・健全に働き続けるために、SDGsに沿った一見して不便なことを積極的に受け入れていく取り組み→「便利」でも長続きしないor違法状態での「便利さ」・効率化・画一化は社会的害悪

掲載先URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000205.000025058.html>



日本マネジメント総合研究所合同会社
理事長 戸村 智憲 (とむら ともり)
〒107-0062東京都港区南青山2-2-8 DFビル5階
電話: 03-6894-7674 E-mail: info@jmri.co.jp
クリエイティブ監査研究会
(愛称: 監査女子会)
<https://www.jmri.co.jp/k-women.html>
執事: 戸村智憲

